

はぐくむ光のびる若芽

(151)

橋場 島田ますみ

目の前に広がる日本海と圧倒される程の北アルプス連峰には生まれ育った光地の富山県魚津市から生まれ育ったこの光町へ家族3人で引越してきて早5年が過ぎました。

長男の英和も、5年生となり、私の背を追い抜く程に成長しました。

子を持つて11年。育児書をしつくりと読む事もありませんでした。夫婦の約束事はありました。子供に対する考えは同一にするという事です。

一方が認める事に一方が反対したのでは、子供の心のバランスがとれなくなるという考えからでした。

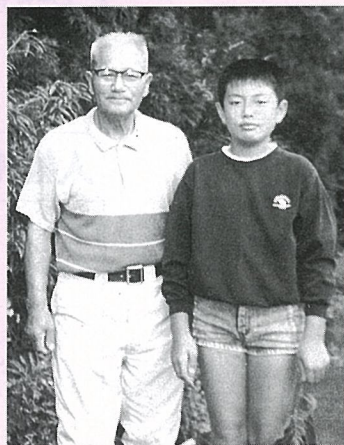
もう一つは、一方が叱っている時は、口をはさまず、黙って見守る事。2人で同時に子供を叱らないという事です。子供の逃げ道がなければショートしてしまうと思っただけです。

「親の夢を一つずつ潰して育つのが子供」と言われてはいますが、良くない事に目を覆い、見せない、教えないという事ではなく、

その中から正しい物の考え方や周りの人々への配慮は最低限持たせなければいけないと思っっています。

また、私たちの興味からもあるので、美術館、

広い視野・大きな心で堂々と



1人暮らしのおじいさんを思いやるやさしい英和君

博物館、音楽会へは時間を作って足を運ぶ様にしています。上野公園での長い行列に閉口しながらも、世界的に有名な絵画や展示品を鑑賞すると思えます。また一つの経験かと思えます。

幸い、今の所は一人っ子の呑気で、のんびりとした性格が表に出ている様で、

昨年祖母が亡くなって独居になった祖父のことで、私たちが離れて生活する様になりました。

目の前で起こった事実が一番心に響いたのか、生命の大切さや他人への思いやりは、私たちがフドフド話すより何より、自然と備わったと親バ力ながら自負しています。広い視野を持ち、大きな心で、これからの自分

の人生を胸を張って堂々と生きてほしいと思います。そして、ちよつぷりのユーモアのセンスも忘れない事を願っています。

保健婦メモ

ボケの正しい知識と予防

◎ボケは年のせいだけでは

よく「ボケは年のせいだ」と思っている人がいますが、これはまちがいです。高齢になるとボケを正しくありません。ある52歳の会社員は「一年ほど前からもの忘れが激しくなり、何回も同じようなことをさくようになった、

◎脳の機能低下をくいどめボケを防ぐには

老人の痴呆を起こす原因疾患のうちでもっとも多い脳血管障害を防ぐことが大切です。そのためには、

- ①食塩の摂取をひかえる。
- ②鶏肉や大豆製品など、良質のたんぱくをとる。
- ③肥満を予防し適度な運動をする。

このケースのように、ボケは老人の問題だけではなく、もつと若い世代から始まることがあるのです。人生80年を迎えた現在、仕事から離れて、あるいは仕事をしているときからボケてしまつては、充実した老後をおくることはおろか、家族にかける負担も、はかりしれません。

◎ボケやすいタイプは？

京都堀川病院の早川一光氏は、ボケやすい性格について左の表のような点をあげています。

こんなタイプがボケやすいはたして、あなたは……？

<p>仕事一筋に生きてきて、なんの趣味も持てなかった無趣味人間。</p>	<p>進んで人の輪の中にとび込んで行けないために、友だちのできない人。</p>
<p>人の意見には耳を傾けず、自分中心にしか物事を考えられないがんこ者。</p>	<p>すぐ腹を立てたりイライラする、短気な人。</p>
<p>笑わない人。</p>	<p>人の心よりも、物にしか頼れない人。</p>

難病相談 (予約制)

内容 言葉が話せない、歩きづらい、手足のしびれ等神経症状の方、及びパーキンソン病、脊髄小脳変性症の方のリハビリと交流の場 場所・申込み 八日市場保健所 ☎1281
日時 12月5日(木) 1時30分～3時30分